

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS LIBRARY

としょかん

114

2026.10.1

大阪経済大学図書館報



CONTENTS

特集

夜更かししても
読みたい本

- 聖地巡礼
- 図書館学生サポーター募集中!
- ビブリアバトルを知ってほしい!
- 編集後記



夜更かししてでも 読みたい本



夜更けより静かな場所

岩井圭也 著

請求番号: 913.6/Iwa 資料ID: 50112382

古書店〈深海〉で開かれた読書会に集まる、様々の境遇の六人が、本をきっかけに自分自身と向き合い、一歩を踏み出していく物語です。それぞれが夢や家族、仕事など身近な悩みを抱えているため、共感できる場面が多くあります。また、読書会の様子を読むと、本を読むことの楽しさを改めて実感できると思います。一冊の本やだれかとの出会いが人生を少しずつ変えていく様子が丁寧に描かれているため、静かな夜にこそじっくり読みたいくなり、読み終えた頃には少し前向きな気持ちになれる作品です。ぜひ読んでみてください。



透明になれなかった僕たちのために

佐野徹夜 著

請求番号: 913.6/San 資料ID: 50108883

無機的な日々を送りながらも、行き場のない殺人衝動を抱えている青年が本作の主人公。ある日、自分とよく似た顔を持つ青年から、父親の遺伝子検査を頼まれたことをきっかけにして、自身の歪んだ運命の因果を知ることとなる……。一読しただけでは内容を理解するに及ばない、複雑に絡み合った物語でしたが、だからこそ、ページを捲る手を止められず、一夜にして読了してしまいました。消化できないやせなさを感じつつも、不思議な静寂さに胸の内が満たされるような不思議な作品でした。少しでも興味を惹かれたなら、ぜひ一度読んでみてください。

読書の秋。日暮れが早くなり、夜の時間が長くなって、秋は日に日に深まっていきます。

秋の夜長は読書をして過ごすのも良いですね。

図書館学生サポーターが、大切な睡眠時間を削ってでも続きが読みたくなるほどの面白い本をセレクトしました。

みなさんも暖かい部屋の中でゆっくり読書を楽しんでください。



ネタバレあり：双紋島の殺人

下村敦史 著

請求番号：913.6/Shi 資料ID：50115990

私が紹介するのは、睡眠時間を削ってでも一気に読み進めたいくなる極上の本格ミステリーです。舞台は、奇妙な建築物が残る二つの孤島。この封鎖された空間で不可解な連続密室殺人が発生し、探偵役が複雑に絡み合う謎に挑みます。建築構造を活かした緻密なトリックと、張り巡らされた伏線が回収される解決編の爽快感は圧倒的です。今夜の読書に心からおすすめしたい一冊です。



殺し屋の営業術

野宮有 著

請求番号：913.6/Nom 資料ID：50114329

契約成立のためならば手段を選ばないトップ営業マンの鳥井。そんな彼は顧客宅で二人の殺し屋に遭遇し、絶体絶命のピンチに陥る。しかし鳥井は殺し屋達もまた窮地に立たされている事を見抜き、卓越した営業トークで自身を売り込んで、裏社会である殺人請負会社に入社する。課されたノルマは“2週間で2億を稼ぐ事”だった!果たして鳥居は2億を稼ぐ事ができるのか!

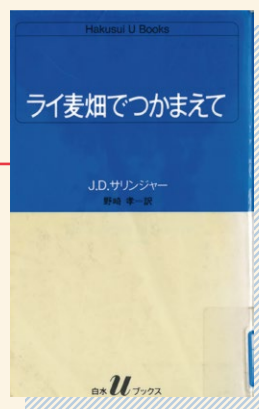


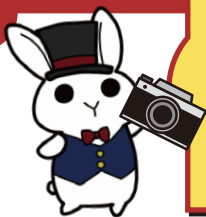
ライ麦畑でつかまえて

J.D.サリンジャー 著

請求番号：933/Sal 資料ID：50050044

本作は、16歳の少年、ホールデン・コールフィールドがニューヨークをさまよった数日間を、彼の語りで振り返る物語です。僕らはなんとなく大人になりました…いえ、なっていました。ホールデンの語る大人の“インチキ”、それは建前や見栄のことですが、僕らはそれらを疑うことなく受け入れています。だからこそ、ホールデンの語る“インチキ”が心に刺さります。彼の“インチキ”を疑うその姿勢は、時に彼自身を傷つけ、つまづかせてしまいますが、そんな彼の不器用な姿は、いつしか僕らが忘れてしまった“素直さ”そのものではないでしょうか。短く、読みやすいので、夜更かしにはピッタリの作品です!





聖地巡礼

小説や映画作品などのゆかりの地を訪ねて、
その作品の世界観をより深く味わう聖地巡礼。



今回は、小説『国宝』の聖地巡礼に行ってきました！

今回の聖地巡礼では、小説『国宝』の舞台にもなった京都市北区の今宮神社と、東山区の南座を訪れました。梅雨の季節ということもあり、少し雨に降られながらも、図書館学生サポーターの仲間と2人で巡ってきました。

吉田修一による小説

『国宝』

(2025年映画化)

歌舞伎に人生を捧げた人間たちのドラマを描いた作品です。

芸の道を極めようとする主人公・喜久雄と俊介を中心に物語が進んでいきます。



今宮神社

聖地巡礼

まず訪れた今宮神社へは、京都市営地下鉄烏丸線の北大路駅からバスで向かいました。

「玉の輿神社」としても有名な神社で、境内には名物の「玉の輿守り」も並んでいました。

作品の雰囲気や肌で感じられる、静かで素敵な場所でした。



あぶり餅 名物の 今宮神社

さて、『国宝』の舞台となった今宮神社の東門を出た先には、とある京都の名物があります。その名物の名は「あぶり餅」。橋の先に店を構えた「かざりや」のある参道は、『国宝』のお練りシーンにも登場しているとのことと縁を感じ、私達サポーターは今回、あぶり餅を味わってきました！



ウラ面に
続きます！



主な 活動内容

Wanted!

図書館学生サポーター募集中！

図書館では、一緒に図書館を盛り上げてくれる「図書館学生サポーター」を募集しています！

本誌「としゃかん」(年2冊)の
企画・編集・原稿作成等

ビブリオバトルの
司会・運営・ポスター作成

館内の
展示コーナーの企画

その他、やりたいことがあれば何でも提案してください。また、得意なこと
に絞って参加するのもOKです。

1年中忙しいわけではなく、拘束時間が少ないので、クラブやアルバイト
との両立も十分可能です。

「大学生活でもう少し何かやりたいな」とか「こんな図書館だったら良
いのにな」と思ったあなた、みんなの図書館と一緒に面白くしよう！



聖地巡礼

あぶり餅 かざりやと

「かざりや」の店内に足を踏み入れた瞬間、どこか懐かしい気持ちになりました。江戸時代から続いているからこそその老舗の佇まいが感じられ、美味しいお茶と共にその雰囲気を楽しむ事が出来ました。



名物のあぶり餅は串一本につき一口サイズのお餅が刺さったお菓子です。運ばれて来たお皿には11本ものお餅がズラリと並べられており、私達はその数の多さに驚かされました。この11本という数は、無病息災を意味する縁起の良い数字に由来しているそうです。じっくりと炭火で焼かれ、特製白味噌ダレがたっぷりかけられたあぶり餅を口に入れた瞬間、白味噌のあまじょっぱさと炭火の香ばしい匂いが広がりました!食感もトロリとしており、あまりの美味しさにペロリと食べられる素敵なお餅でした。

江戸時代から多くの人たちに愛されて来たあぶり餅。今宮神社に来たならば、是非足を伸ばして食べてほしい一品なので、京都観光に行かれる方、また行きたくなった方にオススメです!



そこから再びバスに乗り向かった南座は、主人公の二人が人生で初めての大舞台「二人道成寺」に挑む重要なスポットです。

400年以上の歴史を誇る南座は、正面に掲げられた大きな提灯がとても印象的でした。

今回は館内に入ることはできませんでしたが、外観だけでも圧倒的な迫力が伝わってきました。

南座

聖地巡礼



最後に、大垣書店 高島屋店に、『国宝』が並んでいるのを見つけました! 『国宝』は大学図書館にも所蔵されていますので、気になる方はぜひ読んでみてください!



大垣書店
高島屋店

ビブリオバトルを知ってほしい!

🔥 ビブリオバトルとは?

発表参加者(パトラー)が1人5分間で本を紹介し、会場にいる全員で「どの本が一番読みたくなったか」を基準に投票して、チャンプを決めるゲーム。

「この本の魅力を知って欲しい!」

「この感動を伝えたい!」

そんな本への熱い想いが勝負の鍵を握る書評ゲームです。



🔥 全国大学ビブリオバトルとは?

全国各地で開催されるブロック予選・ブロック決戦を勝ち抜いた大学生・大学院生が、活字文化推進会議主催の本戦に出場し、グランドチャンプ本が決定されます。

(全国大学ビブリオバトル公式HPより)

大経大生の全国大学ビブリオバトル 出場履歴

全国大学ビブリオバトル 2018(大阪)

決 勝 出 場

全国大学ビブリオバトル 2019(東京)

準決勝 出 場

大学ビブリオバトル・オンライン大会 2020(オンライン)

準決勝 出 場

大学ビブリオバトル・オンライン大会 2021(オンライン)

準決勝 出 場

全国大学ビブリオバトル 2026(長崎)

準決勝 出 場

※ () 内は開催地 / 開催方法



去年は本学学生が
全国大会に
出場しました!



編集後記

本格ミステリーの王道を凝縮した『双紋島の殺人』をご紹介します。緻密な仕掛けと見事な伏線回収は、一度読み始めたら途中で本を閉じられなくなるような、そんなミステリー好きの心を揺さぶる謎解き体験となっているので、ぜひ今夜の夜更かしのお供にお楽しみください!

T.T.

今回の秋号では、初めての聖地巡礼を行いました。本をきっかけにしたこうした活動に少しでも興味のある方は、ぜひお気軽にサポーターに参加してください!

S

最近、就活期に突入しましたクノミです!

テストに就活に教習所のでんてこ舞いで、本もなかなか手に取れない時期ですが、今回選んだ本は今回のテーマである夜更かし、というより睡眠時間を削って私自身が読んでしまった本です。久しぶりに本の世界に沈む感覚に出会えて、思わず興奮してあっという間に読み進めてしまいました。主人公の怪物性がとにかく面白い作品なので、是非手に取っていただけたらと思います。

クノミ

今回『夜更けよりも静かな場所』を読んで、自分が本を好きになった理由は読む人によって解釈が異なり、時間を忘れて物語の世界に浸れる心地よさにあるのだと、改めて実感しました。また、初めて紹介文を書いたので、本の魅力を文章にまとめるのが難しかったですが、少しでもこの作品の良さが伝わっていたら嬉しいです。

H.K.

今回夜更かししてでも読みたい本ということで、どんな本にしようか考えていたところ、テスト勉強が捗らずに、読んでいた『ライ麦畑でつかまえて』がちょうどあったので、選んでみました。勉強が中々進まない夜中に少し手に取ってみて欲しいです。

F.T.

今回の図書館報にて、初めて制作に携わせていただくことになり、試行錯誤を繰り返しながらおすすめ本の紹介を書き上げました。読了した本を想起しながら、改めて文章にて感想を書き表すという行為は、個人的にとっても新鮮なもので、楽しく取り組むことができました。

M.H

大阪経済大学図書館

2026年10月1日発行

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2丁目2-8

Tel.06-6328-2431(代表)

<https://www.osaka-ue.ac.jp/research/library/>

